

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



## ボランティアニュース

217号 2021年12月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦典

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

### コロナ禍であらためて感じたオレンジクラブの有難さ

循環器内科医長 柳 貞光



循環器内科の柳です。こども医療センターで仕事を始めて16年の歳月がたちました。同じ病院で長く仕事をするのは当院が初めてなので、子供たちの成長をしっかり見届けられることをとても楽しみに日々仕事をさせていただいています。こどもの心臓を看るといふ仕事の性格上、短時間で変化する病状にピリピリと緊張しながら仕事をこなす毎日です。そんな私を癒してくれるものが院内で2つあります。一つは病院の吹き抜けの季節ごとの飾り物です。お正月かざりからクリスマスツリーに至るまで様々な真心こもった飾りつけは毎回とても楽しみです。週末になるとオレンジクラブの皆様が総出で飾りつけをされているお姿を拝見し、感謝の気持ちでいっぱいになります。特に今年の夏の水族館！スイミーの姿に思わず写真をとって家族に送ってしまいました。一つ一つ手作りでアイデアいっぱい、こんな中年のおじさんがわくわくする位なので子供たちにとってはとても楽しみな飾りつけかと思えます。もうひとつは屋上庭園です。仕事の合間に屋上にあがって自動ドアを開けると（夜間など時間外は手動で無理やり開けるのですが・・・）、四季折々の草花とそれに誘われた蝶や蜂が出迎えてくれます。夕暮れの富士山や当直あけのみなとみらい越しの朝日もとても綺麗で、だれよりも屋上庭園を利用している人間の一人だと自負しています。そんな中今年ジョッキングなことがありました。コロナの緊急事態制限に伴いオレンジクラブの皆様の活動できない日々が続き、屋上庭園は花が枯れ、雑草が生い茂り、ほんの数カ月の間に悲しい光景に代わってしまいました。各病棟のプレイルームは閉鎖されそこの本の読み聞かせや子供たちの笑顔も見られなくなってしまいました。私たちこども病院がいかにボランティアの方々に支えられているか、いかに皆様に頼りすぎているかを痛感しました。

病院はこどもたちの治療の場であると同時に生活の場です。そこに笑顔と安らぎを与えてくれるオレンジクラブの皆様の活動に本当に本当に感謝です。

これからもこどもたちを温かく見守ってください。

「医師の会の先生、ありがとうございました。」

オレンジクラブ代表 三木美雪

今年度も、医師の会の先生方からオレンジクラブに10万円のご寄付をいただきました。

本当にありがとうございました。いつも先生方が、オレンジクラブを応援してくださっているのを大変うれしく感じ、感謝の気持ちで一杯です。かわいいティディベアーさん達が飾られているクリスマスツリーの下、循環器科の柳貞光先生よりご寄付をいただきました。「オレンジクラブの皆

さん、いつもありがとう」と感謝込めたお言葉が、力強く、優しくもあり、思わず「こちらこそありがとうございます。大切にに使わせていただきます。」とお答えしました。

コロナ感染症が落ち着いている状況なので、オレンジクラブの会員の皆さんも張り切って活動を開始しています。まだ、病棟内での活動や、きょうだいあずかりの活動はできませんが、リモートで病棟を繋いだイベント、ぽぼんたのお話会もスタートしています。いつもどこかで医師の会の先生方が、見守って下さると思うとオレンジクラブも増々勇気が湧いてきます。どうか今後ともオレンジクラブの活動をサポートしていただきますよう、お願いいたします。



### 「つるし雛の販売」と「クリスマス飾りの販売」

11月8日、本館から管理棟への通路で、「つるし雛」のグループ主催で、つるし雛や来年の干支『寅』などの販売がありました。2時間で69,400円の売り上げでした。コロナ禍では自宅での活動が大半でした。

また手芸グループでも手作りのクリスマス飾り作品などを22日から3週続けて販売しました。コロナの感染対策でバザーが出来ない中でも、皆さんに楽しんでいただきたいという願いからです。3日間で118,095円でした。楽しんでいただけた事でしょう。

売り上げは、オレンジクラブの活動資金にさせていただきます。



(つるし飾り販売)



(手芸作品販売)

### 11月30日より、「よりみちステーション」週2回開催



「きょうだいさんにあそびのテイクアウトしませんか?」と呼びかけたポスターは、手書きで、パステルカラーでやさしさにあふれています。場所は、5階家族待合室で「よりみちステーション」と名付けています。入院されている方のごきょうだいさんを対象に企画しています。毎週火曜日と金曜日の14時から16時です。よろしければ、ちょっと寄り道してみてください。

## クリスマスの準備と私

手芸・園芸グループ 石崎 美佐子

今年もコロナで長い休みが続きました。オレンジクラブに入会して以来、一番長い活動自粛です。

緊急事態宣言が解除され、久々の手芸の活動となった10月の作業第1日目、部屋に入ると、机の上に並べられたそれはそれは素晴らしい色とりどりの作品。毎年のことながら皆さんの見事なアイデア、針さばきです。

「なんだか恥ずかしくて持ち帰りたくなるわ」と、おずおず自分の作品を机の端に。すると、「大丈夫 大丈夫」「可愛いわあー」「それぞれの個性の作品があるのいいのよ」と優しい声がかかります。毎年このようなことを繰り返しながら十数年、クリスマス飾りの準備を続けてきました。

11月6日土曜日の飾りつけ本番の日。応援の園芸の男性の方から「これはすごい！これじゃあこども達も喜ぶよ」と笑顔とはずんだ声が届きます。大人もこどもも皆さんが喜んでいただけるような作品を作るメンバーの一員になれたことをとても嬉しく幸せに思っています。

11月から始まったNHKの朝ドラ「カムカムエヴリバディー」と同じ戦前戦中戦後育ちで、家に4歳で電気がつき、8歳でラジオがついたような時代を過ごしてきた私が、老後にオレンジクラブのボランティア活動で大勢の方々との出会いがあり、励まされています。

一昔前、「50・80よろこんで」という、どこかの保険会社のCMがありました。50歳からでも80歳からでも喜んで加入を受け付けますよというものだったと思いますが、ちょうどその頃オレンジクラブに娘が50歳で入会し、少し遅れて私が80歳になりますが大丈夫でしょうかと不安ながら入会を希望したところ、「どうぞどうぞ喜んで」と受け入れていただき、50・80が喜んで活動を始め、12年余りになります。20年30年と活動を続けていらっしゃる方々に比べれば、まだまだひよこです。



外来活動を始めた娘は現在仕事のため休会中。私は最初は欲張って縫製・園芸・手芸の3つの活動とバザーの準備などにも参加していましたが、博物館行きの足踏みミシンには慣れていた私は、縫製の新しいミシンになるとちょっと苦戦して退散。現在の活動は園芸と手芸の2つです。

気持ち的には始めた頃と変わらず、年数的にもボランティアとしてはひよこですが、自分が嫌になるくらい動作も遅くなり、どこからどう見ても正真正銘の大おばあさんの私です。そんな私を仲間として受け入れてくださる縫製、園芸、手芸の方々、他にも声かけて下さる方々、入院中や来院時にクリスマス飾りや季節飾り、屋上や中庭のお花を見て下さるお子さんやご家族の方々、日々大変なお仕事をされている病院の方々、そんな多くの方々との繋がりを持てる老後があるとは思ってもみませんでした。この幸せに感謝です。

35年前にALSで他界した夫は空の上で待ちくたびれているかもしれませんが、これからも「一日一生」の言葉を胸に身の丈に合ったことを毎日繰り返す、このような日々を送りたいと思っています。

## 神奈川でのシブリングサポーターの開催

11月20日土曜日午前中3時間、シブリングサポーターの研修会がオンラインで開催されました。

「オレンジクラブ」と「スマイルオブキッズ」と、「しぶたね」の3者で共催しました。

「しぶたね」とは、病気の子どもの「きょうだい」の為のNPO法人で、「しぶ」はシブリング（きょうだい）のしぶだそうです。43人の参加で、オレンジクラブの会員は10名、保育士など病院関係者は5名でした。以下は、参加したオレンジクラブの方から頂いた感想です。

- ・充実した3時間だった。「子供の気持ちを受け入れて言語化する」を実践したいと思う。
- ・貴重な体験をさせていただき大変勉強になった。これからもこのような貴重な体験に参加させていただける機会があったら参加させていただきたい。
- ・しぶたねさんの活動、形にしているところなど深い研修だった。とらえ方や考え方、人によって感じ方が違う事。正解がない。一つじゃない。いろいろあっていい。病気や障害を抱えるお子さんとそのご家族がすこしでも辛い気持ちを軽くするお手伝いが見つけていきたいと思った。

きょうだい預かり保育士の小林さんは、「神奈川でのシブリングサポーターの開催を共催出来て本当に良かったと思っています。又、今回の研修の中でそれぞれ心に響いた部分をきょうだいさんやご家族の為にこれから活かしていければと思っています。本当にありがとうございました。」と話されておりました。

## ぽぽんた通信⑦

きくちゃん

2021年10月30日緊急事態宣言が解除された。11月下旬になると全国の感染者数は一桁になるほど減ってきている。でもぽぽんたは、マスク・手洗い・体温測定は怠らない。

毎月のオンラインミーティングはメンバーの顔が見えて、近況報告などがありホッとします。

**ぽぽんたの活動①** 毎週水曜日 14:30～ 病棟へのZoomおはなし会が定着してきた。アイパッドを通して一家族ずつのおはなし会は、わらべうた、絵本が中心になる。10分～20分ぐらいだが、同席して下さる保育士さんの報告で、ご家族が楽しんで下さっている様子がわかる。

**ぽぽんたの活動②** 毎月2回の本の貸し出しはリクエストや冊数増加要請があり、それぞれの病棟で、喜んでもらっているのがわかる。

今年のぽぽんたクリスマスプレゼントは、おはなし会動画（DVD）にした。

担当者は、慣れないカメラに向かって‘楽しいクリスマス’プログラムに挑戦している。

Zoomでの病棟おはなし会は少しずつ慣れてはきたが、やっぱり子ども達と直に向き合って会話をやり取りしながらのおはなしかいが出来ることが待ち遠しい。

## 12月ボランティア活動予定

		1日(水)	2日(木)	3日(金)
		ぼぼんた	ピアノ田中さん	①カリ先生とフラダンス(ひだまり) オンライン ②美ら海水族館 4西・5南オンライン
6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)
つるし雛・手芸販売		縫製・手作り ぼぼんた本貸し出し	難病ネットサ ンタ訪問 (全病棟)	横田基地サンオブハワイサ ンタ訪問 外来ミーティング ぼぼんた肢体オンライン
13日(月)	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)
オンライン ①ひだまり SOC		縫製 ぼぼんた 斎藤ピアノ演 奏(NICU/総合 待合)	笑い文字イベ ントオンライ ン5西5南ク リーン	厚木基地サンタ訪問
20日(月)	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)
5南美ら海オン ラインイベント	オンライン ①ひだまり SHJ	お話し会ぼぼ んた外来プレ ールーム(予定)	SOC しゅんさ くさんオンラ イン	
27日(月)	28日(火)			

26日・日曜日  
正月飾りつけ

よいお年を  
お迎え下さい。



月曜日～金曜日 外来活動  
毎週火曜日 園芸(屋上・重心施設・正面玄関)  
毎週月・水・金曜日 11:00～14:00 患者図書活動  
毎週水曜日 14:00, 14:30 15:30 「ぼぼんた」  
毎週 ZOOM でのお話し会  
第2第4水曜日 「ぼぼんた」病棟の本の貸し出し  
毎週火曜日 高野さんのピアノ演奏  
毎週火・金 きょうだい預かり作業 重心活動  
月1～2回 フラワーアレンジメント5ヵ所  
\*12月26日(日) 正月飾りつけ

ボランティアニュースをお読みの皆様

オレンジクラブのブログもぜひご覧ください。 <https://blog.kcmcvolunteer.com/>